就活面接で気が付いた事と私が幾つか使った戦術

さて、私自身、就職するつもりは無いですが、今後、仮に就職を目指した時のための練習として幾つか面接を受けたので、他の就活生を見て気が付いた事や私が就活で使った戦術を幾つかご紹介したいと思います。

１．最初と最後が肝心

印象学で最も印象に残り易いのは最初と最後と言う事で、先日の面接では、「好きな方から自己紹介をして下さい」と言う事ですぐさま挙手し自己紹介をしました。因みに、アンカリングと言う心理学の認知バイアスがございまして、最初の情報を基準に物事が進むと言う意味なのですが、私の場合、このバイアスを活用して、最初に挙手して、現状何をしていて、過去にはどんな事をしてきて、この会社ではどんな事をしたいと思っていると言う未来、三部構成で自己紹介をしました。すると、集団面接にて他の就活生もアンカリングにやられて、私の猿真似をして同じ三部構成に自己紹介を切り替えたわけですが、私のように準備が出来ていなかったわけで、苦しそうに自己紹介をしていました。ぜひ、アンカリングを活用して、他の就活生を陥れて見てはいかがでしょうか

そして、「最後に質問は何かございますか？」の時も最初に挙手し、最後にも再び挙手して質問をしたわけです。何故なら、最初と最後が印象に残るからです。

２．質問にちゃんと答える

面接官の質問が曖昧な感じで何を聞いているのか良く分からない時や一個の質問の中に質問が複数あったりする事があったのですが、ちゃんと面接官の質問に答える事は非常に大事です。曖昧なら、「こう言う事ですか？」と聞き返したり、質問の中に複数の質問があれば、しっかりと頭の中で復唱して、全てに答える事で、ちゃんと意思疎通出来ると思わせるためには大切になってきます。見る見るうちに質問に対する回答が脱線したり、最初から質問に答えていないのを見るのは非常に痛々しい物があります。

個人面接ですぐに解答が思いつかないなら、「少しお時間を頂けますか？」と聞くのも、見切り発車で脱線するのを防ぐ方法でしょう。

暴走機関車にならないように、ゆっくりと慎重に面接官と会話を行うと良いかもしれません。